

政務活動費収支報告書

令和7年3月31日

富士宮市議会議長 諏訪部孝敏様

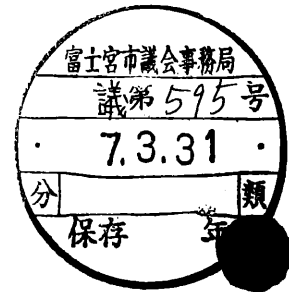
会派名称 無会派

代表者氏名 望月芳将

令和6年度の政務活動費に係る収入及び支出について、下記のとおり報告します。

記

1 収入
政務活動費 300,000 円



2 支出

| 項目 | 金額 (円) | 主たる支出の内訳 |
|-------|---------|---------------|
| 資料作成費 | 0 | |
| 資料購入費 | 0 | |
| 会議費 | 124,298 | 各種研修会への参加費・旅費 |
| 事務費 | 0 | |
| 調査旅費 | 57,200 | 先進地視察 |
| その他経費 | 2,000 | 先進地視察へのお土産代 |
| 合計 | 183,498 | |

3 残額 116,502 円

令和 6 年度 政務活動費現金出納簿

単位 :円)

| 月 | 日 | 項目 | 内 容 | 収入金額 | 支払金額 | 残 高 |
|----|----|-------|------------|---------|---------|---------|
| 4 | 1 | 政務活動費 | | 300,000 | | 300,000 |
| 5 | 21 | 会議費 | 旅費 | | 31,580 | 268,420 |
| 5 | 30 | 会議費 | 参加費 | | 15,000 | 253,420 |
| 11 | 19 | 会議費 | 旅費 | | 3,370 | 250,050 |
| 12 | 10 | 会議費 | プロジェクター使用料 | | 68 | 249,982 |
| 12 | 10 | 会議費 | 講師交通費 | | 711 | 249,271 |
| 12 | 10 | 会議費 | 講師謝礼 | | 875 | 248,396 |
| 11 | 22 | 会議費 | 会場使用料 | | 34 | 248,362 |
| 12 | 18 | 調査旅費 | 旅費 | | 57,200 | 191,162 |
| 1 | 7 | その他経費 | 御土産代 | | 2,000 | 189,162 |
| 3 | 25 | 会議費 | 旅費 | | 13,830 | 175,332 |
| 3 | 25 | 会議費 | 旅費 | | 13,830 | 161,502 |
| 3 | 25 | 会議費 | 受講料 | | 30,000 | 131,502 |
| 3 | 25 | 会議費 | 受講料 | | 15,000 | 116,502 |
| | | | | | | 116,502 |
| | | | | | | 116,502 |
| | | | | | | 116,502 |
| | | | 合 計 | 300,000 | 183,498 | 116,502 |

収入金額 300,000 円

支出金額 183,498 円

差引残額 116,502 円

令和6年4月1日

令和6年度 無会派（望月芳将） 年間計画

1, 先進地視察

- ①福祉一般（重層的支援事業・高齢者福祉・子育て）
- ②環境（再資源化・高齢者のゴミ出し・収集の在り方・排水処理）
- ③防災・減災
- ④都市計画（まちづくり・土地利用）
- ⑤教育（不登校問題・図書館運営）
- ⑥議会運営に関すること

2, 研修会

- ①議員研修・セミナー等への参加
- ②各種学会主催の講演会への参加
- ③その他

3, 資料購入

- ①議員活動関連書籍の購入
- ②自治体情報月刊誌の購入
- ③市内地図等の購入

4, 事務用品購入

- ①筆記用具・文具全般
- ②その他

無会派 代表者 望月芳将
会 計 望月芳将

第5号様式（第4条関係）

政務活動費交付決定通知書

富行第17号の2

令和6年4月1日

望月 芳将 様

富士宮市長 須藤 秀 忠

令和6年4月1日付けで申請のあった政務活動費の交付について、下記のとおり決定したので通知します。

記

令和6年度交付決定額 30万円

NO.

収 入 伝 票

| | |
|-----------|--------------------|
| 項 目 | 政務活動費 |
| 金 額 | 300,000円 |
| 内 容 | 政務活動費 1人分 望月 芳将 |
| 収 入 先 | 富士宮市長 |
| 収 入 年 月 日 | 令和 6 年 4 月 1 日 |
| 摘 要 | |

研修参加申請書

| | | 予算項目 | 会議費 |
|---|--|----------------------------|-----------------|
| 起案 | 令和 6 年 5 月 21 日 | 決裁 | 令和 6 年 5 月 21 日 |
| | 所 属 | 氏 名 | 備 考 |
| 1 | 無会派 | 望月芳将 | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 研修市町村 | 研 修 先 | 研 修 名 | |
| 東京都千代田区 | 東京都千代田区神田駿河台1-1 明治大学アカデミーコモン棟3階 アカデミーホール | 第16回 2024年日本自治創造学会 研究大会 | |
| 研 修 目 的 | | | |
| 自治体改革や議会改革に関する講演を拝聴し、先進地自治体の事例をはじめ、さまざま自治体の取組を学ぶ。 | | | |
| 宿 泊 地 | 出 発 年 月 日 | 帰 省 年 月 日 | |
| 東京都台東区浅草橋 | 令和6年 年 5 月 30 日 | 令和6年 年 5 月 31 日 | |

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

| | |
|-----------------------------|---|
| 項 目 | 会議費 |
| 金 額 | 15,000 円 |
| 内 容 | 第16回 2024年 日本自治創造学会 研究大会に参加するための参加費 |
| 目 的 | 自治体改革や議会改革に関する講演を拝聴し、先進地自治体の事例をはじめ、さまざま自治体の取組を学ぶ。 |
| 支 出 先 | 一般社団法人 日本自治創造学会 |
| 支払年月日 | 令和6 年 5 月 30 日 |
| その他特記事項(参加者・人数等) 望月芳将 一名 | |

— 領収書等貼付欄 —

領 収 証

望月芳将 様

No. 

金額

715000

但 第16回 日本自治創造学会研究大会 参加費

2024年 5月 30日 上記正に領収いたしました

内 訳


税抜金額

消費税額等(%)

一般財団法人

日本自治創造

理事長 穂坂 邦

東京都千代田区神田佐久間町 

支 出 伝 票

| | |
|-----------------------------|---|
| 項 目 | 会議費 |
| 金 額 | 31,580 円 |
| 内 容 | 第16回 2024年 日本自治創造学会 研究大会に参加するための旅 費 |
| 目 的 | 自治体改革や議会改革に関する講演を拝聴し、先進地自治体 の事例をはじめ、さまざま自治体の取組を学ぶ。 |
| 支 出 先 | 望月芳将 |
| 支払年月日 | 令和6 年 5 月 21 日 |
| その他特記事項(参加者・人数等) 望月芳将 一名 | |

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

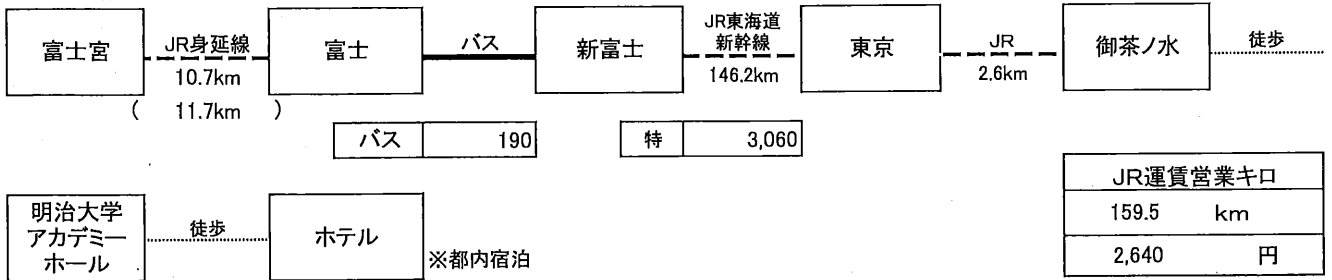
旅費計算書(政務活動費)

無会派
(望月議員)

● 1 日 目 : 令 和 6 年 5 月 30 日 (木)

【研修】2024年度日本自治創造学会研究大会 個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

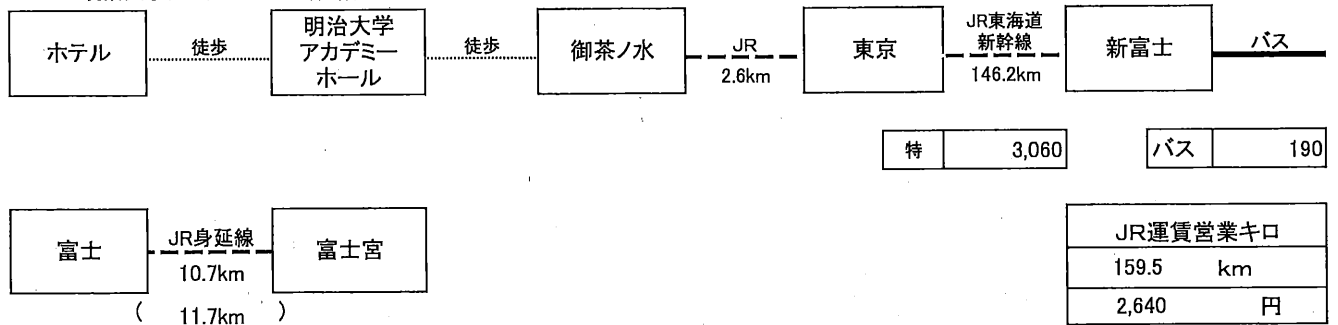
明治大学アカデミーコモン棟3階アカデミーホール(東京都千代田区神田駿河台1-1)



● 2 日 目 : 令 和 6 年 5 月 31 日 (金)

【研修】2024年度日本自治創造学会研究大会 個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する

明治大学アカデミーコモン棟3階アカデミーホール(東京都千代田区神田駿河台1-1)



| | | | | | | | | | | |
|------------|-----|----------|------|------------|---|-----|---|----------|---|----------|
| 鉄道賃 | J R | 5,280 円 | 運賃 A | 11,780 円 | × | 1 人 | = | 11,780 円 | | |
| | 私鉄 | 円 | | | | | | | | |
| 特急料金 | 通常 | 6,120 円 | 日当 | 1,650 円 | × | 2 日 | × | 1 人 | = | 3,300 円 |
| | 閑散 | 円 | | | | | | | | |
| | 繁忙 | 円 | | | | | | | | |
| 航空運賃 | 料金 | 円 | 宿泊料 | 16,500 円 | × | 1 夜 | × | 1 人 | = | 16,500 円 |
| 船賃 | | 円 | | | | | | | | |
| 車賃 (バス) | | 380 円 | | | | | | | | |
| 1人往復運賃合計 A | | 11,780 円 | 旅費合計 | 31,580 円/人 | × | 1 人 | = | 31,580 円 | | |

研修報告書

| | | 会派名 | 無会派 |
|----------------------------|---|-----|-----|
| 研修年月日 | 令和6年5月30日 ~ 令和6年5月31日 | | |
| 研修名 | 2024年度日本自治創造学会 研究大会 明治大学アカデミーコモン棟3階アカデミーホール | | |
| 参加者 | 望月芳将 | | |
| 研修内容 (概要、特色、 効果、課題等) | <p>令和6年5月30日から31日まで、2024年度日本自治創造学会の研究大会が明治大学アカデミーコモン棟3階アカデミーホールで開かれ、講演を拝聴した。</p> <p>研修内容は、議会改革や一般質問のあり方やDX化や子どもの自殺対策大規模災害対策、少子化対策などの個別政策を事例を持って講義を受けた。</p> <p>中でも委員会で調査した事柄を、一般質問で委員長が行い言わば委員会代表質問のようなことが、できるのではないかとの提案があった。とても良い方法だと思った。また、子どもの自殺対策では、保健室状況や保健師の学校への配置を提言された。福祉分野と教育分野との連携必要と強調された。</p> <p>これらを基に、特に学校への保健師の配置を一般質問で行おうと思った。</p> | | |

研 修 参 加 申 請 書

| | | | |
|---|---------------------------|-----------------------------|------------------|
| | | 予算項目 | 会 議 費 |
| 起 案 | 令和 6 年 11 月 19 日 | 決 裁 | 令和 6 年 11 月 19 日 |
| 所 属 | 氏 名 | | 備 考 |
| 1 | 無会派 | 望月芳将 | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 研修市町村 | 研 修 先 | 研 修 名 | |
| 静岡県静岡市 | ホテルアソシア静岡 (静岡市葵区黒金町56) | 静岡県環境整備事業協同組合 設立50周年記念大会 | |
| 研 修 目 的 | | | |
| 災害時のトイレ対策は被災者の健康問題や集団での衛生問題など、多面的な配慮が必要である。「いま見直す災害時のトイレ対策」に関する調査や今後の取組を学ぶ。 | | | |
| 宿 泊 地 | 出 発 年 月 日 | 帰 省 年 月 日 | |
| | 令和6年 年 11 月 20 日 | 令和6年 年 11 月 20 日 | |

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

| | |
|-----------------------------|--|
| 項 目 | 会議費 |
| 金 額 | 3,370 円 |
| 内 容 | 静岡県環境整備事業協同組合設立50周年記念大会に参加するための旅費 |
| 目 的 | 災害時のトイレ対策は被災者の健康問題や集団での衛生問題など、多面的な配慮が必要である。「いま見直す災害時のトイレ対策」に関する講演を拝聴し、災害用トイレに関する調査や今後の取組を学ぶ。 |
| 支 出 先 | 望月芳将 |
| 支払年月日 | 令和 6 年 11 月 19 日 |
| その他特記事項(参加者・人数等) 望月芳将 一名 | |

— 領収書等貼付欄 —

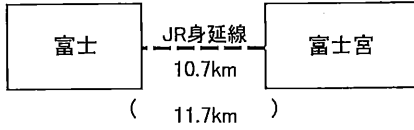
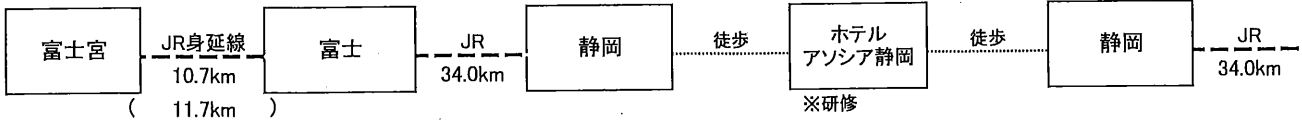
別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

無会派
(望月議員)

● 1日目：令和6年11月20日(水)

【研修】静岡県環境整備事業協同組合設立50周年記念大会(ホテルアソシア静岡：静岡市葵区黒金町56)



| | |
|--------------|----|
| JR運賃営業キロ(片道) | |
| 44.7 | km |
| 860 | 円 |

| | | | | | | |
|------------|----|---------|------|----------------------------|-------------------------------|--|
| 鉄道賃 | JR | 1,720 円 | 運賃 A | 1,720 円 × 1 人 = 1,720 円 | | |
| | 私鉄 | 円 | | 日当 | 1,650 円 × 1 日 × 1 人 = 1,650 円 | |
| 特急料金 | 通常 | 0 円 | | | | |
| | 閑散 | 円 | | | | |
| 航空運賃 | 料金 | 円 | 宿泊料 | 16,500 円 × 0 夜 × 1 人 = 0 円 | | |
| | | 円 | | | | |
| 船賃 | | 円 | | | | |
| 車賃(バス) | | 0 円 | | | | |
| 1人往復運賃合計 A | | 1,720 円 | 旅費合計 | 3,370 円/人 × 1 人 = 3,370 円 | | |

研修報告書

| | | 会派名 | 無会派 |
|------------------------|--|-----|-----|
| 研修年月日 | 令和6年11月20日 | | |
| 研修名 | 静岡県環境整備事業協同組合設立50周年記念大会 | | |
| 参加者 | 望月芳将 | | |
| 研修内容 (概要、特色、効果、課題等) | <p>令和6年11月20日、静岡市ホテルアソシアで行われた、静岡県環境整備事業協同組合設立50周年記念大会での基調講演を拝聴した。</p> <p>日本における阪神淡路大震災から今日までの大規模災害で、トイレ問題や災害関連死に代表される二次的災害の問題がいまだに解決されていないとの問題提起があった。講師である特定非営利活動法人日本トイレ研究所の加藤篤代表理事長の講演では、48時間以内にトイレや温かい食事、寝床の確保ができるよう普段から対応や対策を考えていかななくてはならないとの意見があった。具体的にトイレ環境は阪神淡路大震災から何も変わっていない。仮設トイレも和式便器で設置に4から7日かかるので、その間の排泄に簡易トイレや携帯トイレが必要である。また簡易トイレや携帯トイレを使用することがないために戸惑う人が多いので、自宅で一回は使用し、その処理の仕方などシュミレーションしてみることが大切であると伺った。</p> <p>頭では分かっているはずでも、実際の行動や処理など体験してみるとは重要だと思った。</p> | | |

視 察 申 請 書

| | | 予算項目 | 調査旅費 |
|-----------------|-----------------------------|----------------------------|------------------|
| 起 案 | 令和 6 年 9 月 30 日 | 決 裁 | 令和 6 年 9 月 30 日 |
| 所 属 | 氏 名 | 備 考 | |
| 1 | 無会派 望月芳将 | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 視察市町村 | 視 察 先 | 目 的 | |
| 東京都北区 | 社会福祉法人東京都福祉事業協会 さくら荘・のぞみ保育園 | 老人施設と保育園のとの併設運営の調査と現地視察のため | |
| 栃木県宇都宮市 | トナリエ宇都宮 | ライトレールによる公共交通の調査と現地視察のため | |
| 東京都港区 | 港区子ども家庭支援センター | 子育てひろばの調査と現地視察のため | |
| 東京都千代田区 | 衆議院第一議員会館 | 国の子育て施策についての調査研究のため | |
| | | | |
| 宿 泊 地 | | 出 発 年 月 日 | 帰 省 年 月 日 |
| 栃木県宇都宮市・東京都千代田区 | | 令和 6 年 12 月 18 日 | 令和 6 年 12 月 20 日 |

支 出 伝 票

| | |
|-----------------------------|--|
| 項 目 | 調査旅費 |
| 金 額 | 57,200 円 |
| 内 容 | ①社会福祉法人赤羽北さくら荘及び赤羽北のぞみ保育園(東京都北区) ②宇都宮ライトレール事業(栃木県宇都宮市) ③港区子ども家庭支援センター(東京都港区) ④衆議院第一議員会館(東京都千代田区) ①～④への行政視察にかかる旅費 |
| 目 的 | ①高齢者施設と保育園の複合施設の運営実績や経緯について ②宇都宮ライトレール事業による宇都宮まちづくりについて ③子育てひろば あっぴいの取り組みについて ④子育て支援施策についての勉強会 |
| 支 出 先 | 望月芳将 |
| 支払年月日 | 令和6 年 12 月 18 日 |
| その他特記事項(参加者・人数等) 望月芳将 一名 | |

— 領収書等貼付欄 —

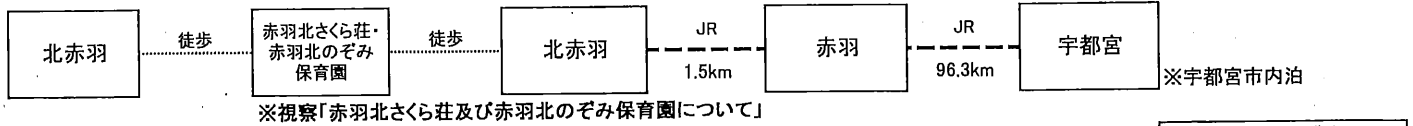
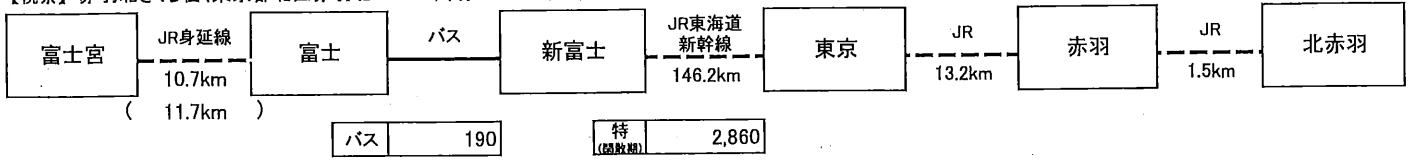
別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

無会派
(望月議員)

● 1日目：令和6年12月18日(水) 閑散期

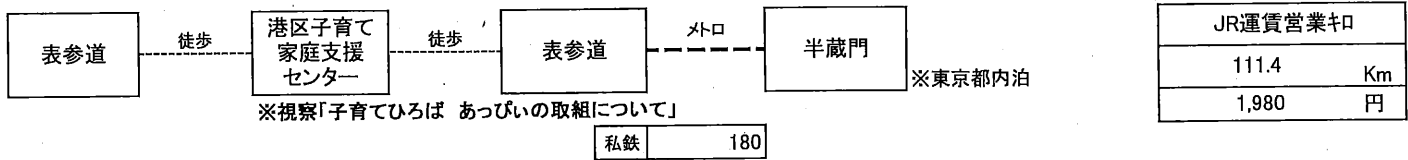
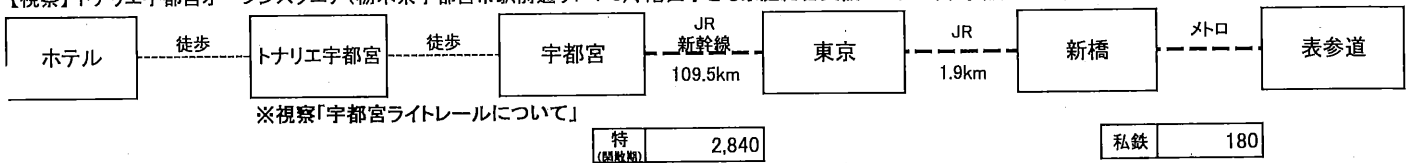
【視察】赤羽北さくら荘(東京都北区赤羽北3-6-10)、赤羽北のぞみ保育園(東京都北区赤羽北3-6-10)



| | |
|----------|----|
| JR運賃営業キロ | |
| 269.4 | Km |
| 4,770 | 円 |

● 2日目：令和6年12月19日(木) 閑散期

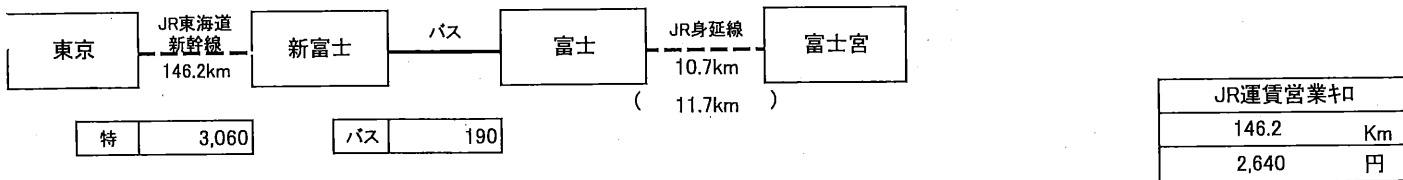
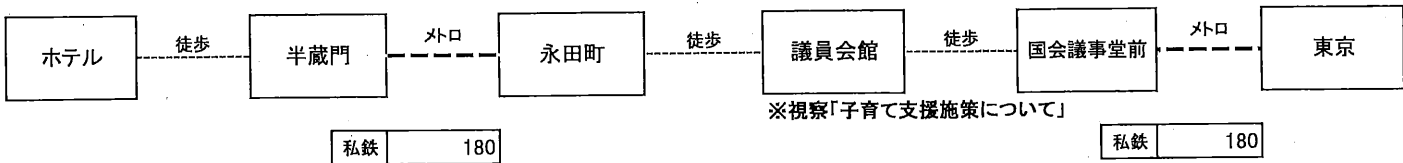
【視察】トナリエ宇都宮オープンスクエア(栃木県宇都宮市駅前通り1-4-6)、港区子ども家庭総合支援センター(東京都港区南青山5-7-11)



| | |
|----------|----|
| JR運賃営業キロ | |
| 111.4 | Km |
| 1,980 | 円 |

● 3日目：令和6年12月20日(金)

【視察】深澤陽一衆議院議員(衆議院第一議員会館:東京都千代田区永田町2-2-1)



| | |
|----------|----|
| JR運賃営業キロ | |
| 146.2 | Km |
| 2,640 | 円 |

| | | | | | | | | | | | | |
|------------|-----|--------|---|------|--------|-----|---|-----|-----|--------|--------|---|
| 鉄道賃 | JR | 9,390 | 円 | 運賃 A | 19,250 | 円 | × | 1 | 人 = | 19,250 | 円 | |
| | 私鉄 | 720 | 円 | | | | | | | | | |
| 特急料金 | 通常 | 3,060 | 円 | 日当 | 1,650 | 円 × | 3 | 日 × | 1 | 人 = | 4,950 | 円 |
| | 閑散 | 5,700 | 円 | | | | | | | | | |
| | 繁忙 | | 円 | | | | | | | | | |
| 航空運賃 | 料金 | | 円 | 宿泊料 | 16,500 | 円 × | 2 | 夜 × | 1 | 人 = | 33,000 | 円 |
| 車賃(タクシー) | | 円 | | | | | | | | | | |
| 車賃(バス) | 380 | 円 | | | | | | | | | | |
| 1人往復運賃合計 A | | 19,250 | 円 | 旅費合計 | 57,200 | 円/人 | × | 1 | 人 = | 57,200 | 円 | |

視察報告書

| | 会派名 | 無会派 |
|--|--|-----|
| 視 察 年 月 日 | 令和6年12月18日～ 令和6年12月20日 | |
| 視 察 先 | 東京都北区さくら荘・のぞみ保育園 宇都宮市トナリエ宇都宮 東京都港区子ども家庭支援センター 東京都千代田区衆議院第一議員会館 | |
| 参 加 者 | 望月芳将 岩村恵美 仲亀恭平 | |
| 視察内容 <small>(概要、特色、効果、課題等)</small> | <p>社会福祉法人東京都福祉事業協会 令和6年12月18日東京都北区赤羽北さくら荘にて、老人介護施設である赤羽北さくら荘と隣接施設である、赤羽北のぞみ保育園の設置の経緯や運営状況などについて施設長の井坂哲郎氏から説明を受けた。</p> <p>老人介護施設と保育園の併設ということいで、子どもたちが慰問に訪れることや、地域包括支援センターとの協働でマルシェを開催したりラジオ体操を行ったり地域の連携を新しい切り口でおこなっている。</p> <p>コロナ禍により薄れた地域連携を、地域包括支援センターがつなぎ役となって行っていた。とても参考となった。</p> <p>宇都宮市 令和6年12月19日宇都宮市トナリエ宇都宮にて宇都宮市建設部 LRT 整備課担当職員より、ライトライン（通称 LRT）の整備の経緯や運営実績など説明を受けた。</p> <p>約30年前に工業団地への通勤渋滞緩和措置として考えはじめた。時が進むにつれて、近隣の芳賀町も含めたネットワーク型コンパクトシティ形成のための公共交通インフラとして LRT の整備が17年前にかくりつされた。</p> <p>説明後実際に乗車し車両基地やトランジェットセンターを見学した。75年振りの日本における路面電車の開通であるが、車両の線形デザインや駅のデザインが現代的である一方、落ち着いた雰囲気とバリアフリーを意識した設計（車両と駅）でした。</p> <p>富士宮市も公共交通の在り方としてネットワーク型が課題となっていることから、トランジェットセンターや周辺土地利用など参考となった。</p> <p>子ども家庭支援センター 令和6年12月19日東京都港区子ども家庭支援センターで、子育てひろば あっぴいの取り組みについて視察した。</p> <p>国の施策である「こども誰でも通園制度」の先駆け事業である。港区では子育てひろばや乳幼児一時預かりなど独自事業として取り組み子育てひろばは無料でやっている。なによりも子ども家庭支援センターが置かれ、施策の推進をしているところが、当市も見習う</p> | |

べきところだと感じた。

子ども家庭庁における子育て支援施策について
令和6年12月20日衆議院第一議員会館にて、子ども家庭庁職員
参加のもと国の子育て支援施策について説明を受けた。
多岐にわたる事業の説明後、こうして施策を熟知する現場職員を育
成するための講座や検索できる仕組みがあると自治体は助かるので
はと意見として述べさせていただきました。

支 出 伝 票

| | |
|------------------|----------------|
| 項 目 | その他の経費 |
| 金 額 | 2,000 円 |
| 内 容 | 調査研究活動に必要な経費 |
| 目 的 | 先進地視察お土産代 |
| 支 出 先 | ヤマヨシ サクライ製茶 |
| 支払年月日 | 令和 7 年 1 月 7 日 |
| その他特記事項 参加者・人数等) | |

領収証

望月芳将 様

No. _____

7 年 1 月 7 日

| | | | |
|----|----------|---|----------------------|
| 金額 | 9,200.00 | 内 | 8%(税込・税抜)金額 消費税額等 / |
| | | | 10%(税込・税抜)金額 消費税額等 / |

但 茶代金 飲食料品等(軽減税率対象)

上記正に領収いたしました

〒417-0005 静岡県富士宮市ひばりが丘1028

TEL (0544) 26 - 5415

FAX (0544) 23 - 7404

ヤマヨシ サクライ製茶

登録番号 _____

研修報告書

| | | 会派名 | 無会派 |
|------------------------|---|-----|-----|
| 研修年月日 | 令和6年12月10日 | | |
| 研修名 | 地域医療研究会 | | |
| 参加者 | 望月芳将 | | |
| 研修内容 (概要、特色、効果、課題等) | <p>令和6年12月10日大富士交流センターにて津田塾大学総合政策学部の伊藤由希子教授を講師に招き研修会を行った。</p> <p>伊藤教授は富士市新病院建設基本構想等審議会会長で、富士市の病院立替の現状を踏まえいくつかあの提言を行っていただいた。</p> <p>その中でも衝撃的だった提言は、</p> <p>①両病院の医師の派遣先が先細りが予想される。考え直す時が迫っている。</p> <p>②富士市との地域医療の連携を継続するならば令和7年の前期まで何らかの協議をすべきである。</p> <p>この二つの課題を私たち議員として行動したら良いか非常に考えさせられる研修であった。</p> | | |

支 出 伝 票

| | |
|--------------------------|-----------------|
| 項 目 | 会議費 |
| 金 額 | 34 円 |
| 内 容 | 勉強会会場使用料 |
| 目 的 | 地域医療についての調査研究の為 |
| 支 出 先 | 公益財団法人 富士宮振興公社 |
| 支 払 年 月 日 | 6 年 11 月 22 日 |
| その他特記事項(参加者・人数等) 参加者: | |

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

令和 6年 11月 22日

住所 富士宮市 [REDACTED]
 団体名 富士宮市議会地球医療勉強会
 氏名又は代表者名 中野健太郎
 (連絡責任者) [REDACTED]

富士宮市大富士交流センターの使用について、下記のとおり許可します。

| | | | |
|----------------|--|-----------------------|---|
| 使用日時 | 令和 6年 12月 10日(火曜日) 9時 00分 から 下記のとおり 令和 6年 12月 10日(火曜日) 12時 00分 まで | | |
| 行事名 内容 | 研修会 | 入場予定者数 | 15 人 |
| | | 入場方法 | 無料・有料 商業宣伝・その他 |
| 会場責任者 | 〒住所 氏名 | 同上 | 入場料金 0 円 |
| | (電話番号) | | 受領印 |
| 備考 (附属設備使用) | 1.音響装置 6.ピアノ 2.プロジェクター 7.PA 3.スクリーン ⑧Wi-Fi 4.演台 9.その他 5.舞台 () | 利用料 (基 ・市外・入場料) | 550 円 |
| | | | 領収 現金取扱員 6.11.22 消費税込10%(税込) (消費税等 55円) |

※許可番号 [REDACTED]
 ※許可年月日 6.11.22

| | 使用日時(曜)・区分 | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------------|----|----|---------|----|----|---------|----|----|---------|----|----|---------|----|----|
| | 12月 10日 (火) | | | 月 日 () | | | 月 日 () | | | 月 日 () | | | 月 日 () | | |
| | 午前 | 午後 | 夜間 | 午前 | 午後 | 夜間 | 午前 | 午後 | 夜間 | 午前 | 午後 | 夜間 | 午前 | 午後 | 夜間 |
| 集会室1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 集会室2 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会議室1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会議室2 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 会議室3 | ○ | | | | | | | | | | | | | | |
| 会議室4 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 和室 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 調理室 | | | | | | | | | | | | | | | |

許可条件 富士宮市大富士交流センター条例、同施行規則及び係員の指示を守ること。

(注) 使用の取消と既納利用料の還付について

取消の場合は、使用日の8日前まで全額還付、7日前から4日前まで7割還付、3日前のみ5割還付
2日前から当日は還付がありません。

※上記の日時まで窓口にて取消手続きを行わないと、既納利用料の還付はできません。

支 出 伝 票

| | |
|--------------------------|-----------------|
| 項 目 | 会議費 |
| 金 額 | 875 円 |
| 内 容 | 講師謝礼 |
| 目 的 | 地域医療についての調査研究の為 |
| 支 出 先 | 伊藤 由希子 |
| 支払年月日 | 6 年 12 月 10 日 |
| その他特記事項(参加者・人数等) 参加者: | |

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

別紙

領収書等貼付用紙

| 項目 | 会議費 | 内容 | 講師謝礼 |
|---------|-----|----|------|
| 領収書等貼付欄 | | | |

領 収 書

地域医療勉強会 様

金 14,000円也

ただし、地域医療勉強会の議員研修会の講師料として、
上記のとおり領収しました。

令和6年12月10日

住所

氏名

伊藤由希子



支 出 伝 票

| | |
|------------------------------|-----------------|
| 項 目 | 会議費 |
| 金 額 | 711 円 |
| 内 容 | 講師交通費 |
| 目 的 | 地域医療についての調査研究の為 |
| 支 出 先 | 伊藤 由希子 |
| 支 払 年 月 日 | 6 年 12 月 10 日 |
| その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:望月芳将 | |

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

別紙

領収書等貼付用紙

| 項目 | 会議費 | 内容 | 講師交通費 |
|---------|-----|----|-------|
| 領収書等貼付欄 | | | |

領 収 書

地域医療勉強会 様

金 11,380円也

ただし、地域医療勉強会の議員研修会の交通費として、
上記のとおり領収しました。

令和6年12月10日

住所 〒
氏名

伊藤 由希子



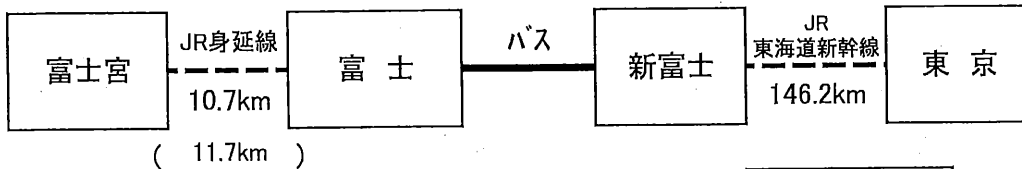
旅費計算書(政務活動費)

会議費

研修: 地域医療勉強会

会場: 大富士交流センター 第3会議室(富士宮市万野原新田4136-6)

● 令和6年12月10日(火) (往復) ※閑散期



バス 190

特閑散期 2,860

| | |
|----------|----------|
| JR運賃営業キロ | |
| | 156.9 Km |
| | 2,640 円 |
| バス | 190 円 |

| | | | | |
|------------|----|----------|------|-----------------------------|
| 鉄道賃 | JR | 5,280 円 | 運賃 A | 11,380 円 × 1 人 = 11,380 円 |
| | 私鉄 | 円 | 日当 | 円 × 日 × 人 = 0 円 |
| 特急料金 | 通常 | 円 | | |
| | 閑散 | 5,720 円 | | |
| | 繁忙 | 円 | | |
| 航空運賃 | 料金 | 円 | 宿泊料 | 円 × 夜 × 人 = 0 円 |
| | | 円 | | |
| 車賃(バス) | | 380 円 | | |
| | | 円 | | |
| 1人往復運賃合計 A | | 11,380 円 | 旅費合計 | 11,380 円/人 × 1 人 = 11,380 円 |

※旅費計算表に基づく

支 出 伝 票

| | |
|--------------------------|-----------------|
| 項 目 | 会議費 |
| 金 額 | 68 円 |
| 内 容 | 勉強会プロジェクター使用料 |
| 目 的 | 地域医療についての調査研究の為 |
| 支 出 先 | 公益財団法人 富士宮振興公社 |
| 支払年月日 | 6 年 12 月 10 日 |
| その他特記事項(参加者・人数等) 参加者: | |

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

NO.

別紙

領収書等貼付用紙

| | | | |
|---------|-----|----|--------------|
| 項目 | 会議費 | 内容 | 会場プロジェクター使用料 |
| 領収書等貼付欄 | | | |

領収書

発行日 令和6年12月10日

地域医療勉強会 様

¥ 1,100

但し、令和6年12月10日 利用の備品代として
上記正に領収いたしました。



内訳

| | | | |
|-----|------|-------|---|
| 税率 | 税抜金額 | 1,000 | 円 |
| 10% | 消費税額 | 100 | 円 |
| 税率 | 税抜金額 | 0 | |
| 8% | 消費税額 | 0 | |

富士宮市

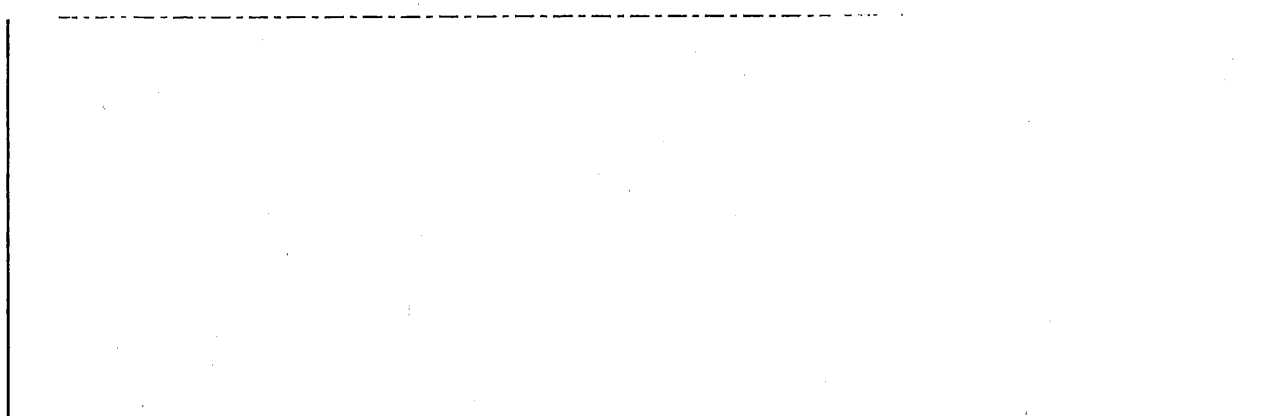
大富士交流センター 指定管理者

(公財) 富士宮市振興公社

TEL 0544-28-0024

登録番号：T1080105003625

No. [REDACTED]



令和6年12月4日

津田塾大学 総合政策学部
教授 伊藤 由希子 様

地域医療勉強会
幹事 望月 芳将
中野 健太郎

地域医療勉強会の講師について(依頼)

師走の候、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、下記議題をテーマに地域医療勉強会を開催することとなりました。つきましては、御多用の折誠に恐縮ですが、勉強会にて講師を依頼したく、よろしくお願ひ申し上げます。

記

- 1 開催日時 令和6年12月10日(火)午前10時から11時45分まで
- 2 場所 大富士交流センター第3会議室
(富士宮市万野原新田 4136-6)
- 3 対象者 富士宮市議会議員14名
- 4 勉強会の議題
地域医療の現状、自治体病院の在り方について等
- 5 謝礼等 謝礼 14,000円
交通費 11,380円

以上

問い合わせ先

富士宮市議会議員 中野 健太郎

電話 [REDACTED] 携帯 [REDACTED]

e-mail [REDACTED]

12月10日(火)地域医療勉強会参加者名簿

| No. | 出欠席 | 会派 | 氏名 |
|-------|-----|--------|--------|
| 1 | ✓ | 公明会 | 佐野 寿夫 |
| 2 | ✓ | 公明会 | 山藤 陽子 |
| 3 | ✓ | 明和 | 辻村 岳瑠 |
| 4 | ✓ | 明和 | 佐野 和也 |
| 5 | ✓ | 明和 | 芦澤 秀典 |
| 6 | ✓ | 明和 | 平下 尚己 |
| 7 | ✓ | 明和 | 中野 健太郎 |
| 8 | ✓ | 富岳会 | 佐野 和彦 |
| 9 | ✓ | 富岳会 | 白井 由紀子 |
| 10 | ✓ | 至誠 | 鈴木 弘 |
| 11 | ✓ | 超党派虹の会 | 渡辺 佳正 |
| 12 | ✓ | 超党派虹の会 | 稲葉 晃司 |
| 13 | ✓ | 超党派虹の会 | 近藤 千鶴 |
| 14 | ✓ | 無会派 | 望月 芳将 |
| 15 | ✓ | 無会派 | 仲亀 恭平 |
| 16 | ✓ | 無会派 | 岩村 恵美 |
| 17 | | | |
| 18 | | | |
| 参加者合計 | | | 16名 |

研 修 参 加 申 請 書

| | | | |
|------------------------|-----------------|------------------------------|-------------|
| | | 予算項目 | 会 議 費 |
| 起 案 | 7 年 3 月 1 日 | 決 裁 | 7 年 3 月 1 日 |
| 所 属 | 氏 名 | 備 考 | |
| 1 | 無会派 | 望月芳将 | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 研修市町村 | 研 修 先 | 研 修 名 | |
| 東京都新宿区 | 地方議員研究会 | 「自治体病院と地方財政の基礎」 「参加自治体の現状把握」 | |
| 研 修 目 的 | | | |
| 自治体病院の今後のあり方についての研究のため | | | |
| 宿泊地 | 出発年月日 | 帰省年月日 | |
| 東京都千代田区 | 令和 7 年 3 月 25 日 | 令和 7 年 3 月 25 日 | |

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

| | |
|--|--------------------------|
| 項 目 | 会議費 |
| 金 額 | ¥ 30,000 |
| 内 容 | 地方議員研究会主催の研修会受講料 |
| 目 的 | 自治体病院のあり方についての研修会に参加するため |
| 支 出 先 | 地方議員研究会 |
| 支払年月日 | 令和7年3月25日 |
| その他特記事項 (参加者・人数等) 望月芳将 1名 2講座参加 ¥15,000 × 2講座 (3/25分) | |

— 領収書等貼付欄 —

領 収 証

2025 年 3 月 25 日

富士宮市議会議員 望月芳将 様

★

¥45,000

但 3/25.26 地域の医療を守る特別研修

研修会受講代として

上記正に領収いたしました

地方議員研究会

〒530-0001
大阪府大阪市
大阪駅前第2ビル
TEL 050-

支 出 伝 票

| | |
|------------------------------|--------------------------|
| 項 目 | 会議費 |
| 金 額 | ¥13,830- |
| 内 容 | 地方議員研究会主催の研修会への旅費 |
| 目 的 | 自治体病院のあり方についての研修会に参加するため |
| 支 出 先 | 望月芳将 |
| 支払年月日 | 令和7年3月25日 |
| その他特記事項 (参加者・人数等) 望月芳将 1名 | |

— 領収書等貼付欄 —

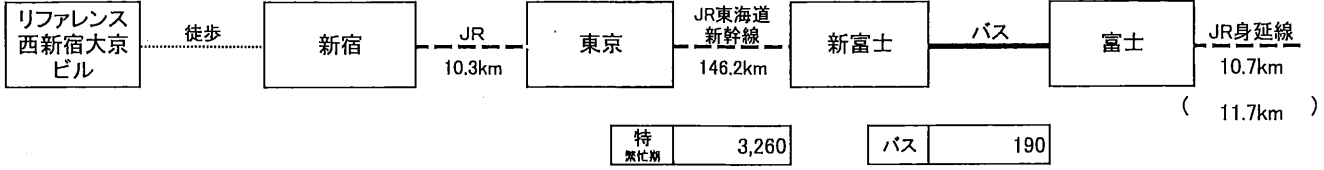
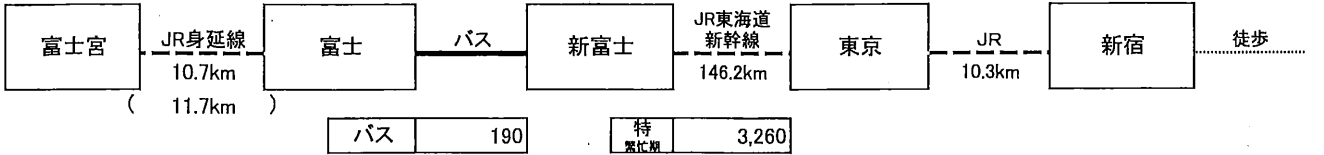
別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

無会派
(望月議員)

● 1日目: 令和7年3月25日(火) 繁忙期

【研修】CKセミナー「自治体病院と地方財政の基礎」参加自治体病院の現状把握(東京都新宿区西新宿7丁目21-3 西新宿大京ビル)



富士宮

| | |
|--------------|----|
| JR運賃営業キロ(片道) | |
| 167.2 | km |
| 2,640 | 円 |

| | | | | | | | | | |
|------------|-----|----------|------|------------|---|-----|-----|----------|---------|
| 鉄道賃 | J R | 5,280 円 | 運賃 A | 12,180 円 | × | 1 人 | = | 12,180 円 | |
| 特急料金 | 私鉄 | 円 | 日当 | 1,650 円 × | 1 | 日 × | 1 | 人 = | 1,650 円 |
| | 通常 | 円 | | | | | | | |
| | 閑散 | 円 | | | | | | | |
| 航空運賃 | 料金 | 6,520 円 | 宿泊料 | 16,500 円 × | 0 | 夜 × | 1 | 人 = | 0 円 |
| 船賃 | 円 | | | | | | | | |
| 車賃 (バス) | | 380 円 | 旅費合計 | 13,830 円/人 | × | 1 | 人 = | 13,830 円 | |
| 1人往復運賃合計 A | | 12,180 円 | | | | | | | |

研修報告書

| | | 会派名 | 無会派 |
|------------------------|---|-----|-----|
| 研修年月日 | 令和7年3月25日 | | |
| 研修名 | 「自治体病院と地方財政の基礎」と「参加自治体の現状把握」 | | |
| 参加者 | 望月芳将 | | |
| 研修内容 (概要、特色、効果、課題等) | <p>令和7年3月25日東京都新宿区リファレンス西新宿大京ビルにおいて、地域医療を守る特別研修として「自治体病院と地方財政の基礎」と「参加自治体の現状把握」を拝聴した。</p> <p>研修内容は次の通りである。 自治体病院の経営は大変に厳しいところばかりで、法定外繰り入れを一般会計から行っている。しかしながら、不採算の医療の提供から仕方がない一面もあるが、特別交付税の算定される部分もあり、しっかりと精査し的確な指摘を行っていくことが、議員には求められる。また経緯強化プランの機能分化と連携強化を行うことにより建て替えや経営に大きな支援をえられる。</p> <p>こうした情報を正確に知り制度を活用することによって、自治体病院の経営が少しでも改善され、安定経営になることにより、医療の提供が充実し継続される。</p> <p>富士宮市立病院現状と照らし合わせてみる必要を感じた。</p> | | |

研 修 参 加 申 請 書

| | | | |
|--------------------|------------------|-------------------|-------------|
| | | 予算項目 | 会 議 費 |
| 起 案 | 7 年 3 月 1 日 | 決 裁 | 7 年 3 月 1 日 |
| 所 属 | 氏 名 | | 備 考 |
| 1 | 無会派 | | 望月芳将 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |
| 5 | | | |
| 研修市町村 | 研 修 先 | 研 修 名 | |
| 東京都新宿区 | 地方議員研究会 | 「必ず成果が出る質問の取り上げ方」 | |
| 研 修 目 的 | | | |
| 議会質問のあり方についての研究のため | | | |
| 宿泊地 | 出発年月日 | 帰省年月日 | |
| 東京都千代田区 | 令和 7 年 3 月 2 6 日 | 令和 7 年 3 月 2 6 日 | |

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

| | |
|---|---------------------|
| 項 目 | 会議費 |
| 金 額 | ¥ 15, 000 |
| 内 容 | 地方議員研究会主催の研修会受講料 |
| 目 的 | 議会質問についての研修会に参加するため |
| 支 出 先 | 地方議員研究会 |
| 支払年月日 | 令和7年3月25日 |
| その他特記事項 (参加者・人数等) 望月芳将 1名 1講座参加 3月26日分 | |

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

支 出 伝 票

| | |
|-------------------|---------------------|
| 項 目 | 会議費 |
| 金 額 | ¥13,830- |
| 内 容 | 地方議員研究会主催の研修会への旅費 |
| 目 的 | 議会質問についての研修会に参加するため |
| 支 出 先 | 望月芳将 |
| 支払年月日 | 令和7年3月25日 |
| その他特記事項 (参加者・人数等) | 望月芳将 1名 |

— 領収書等貼付欄 —

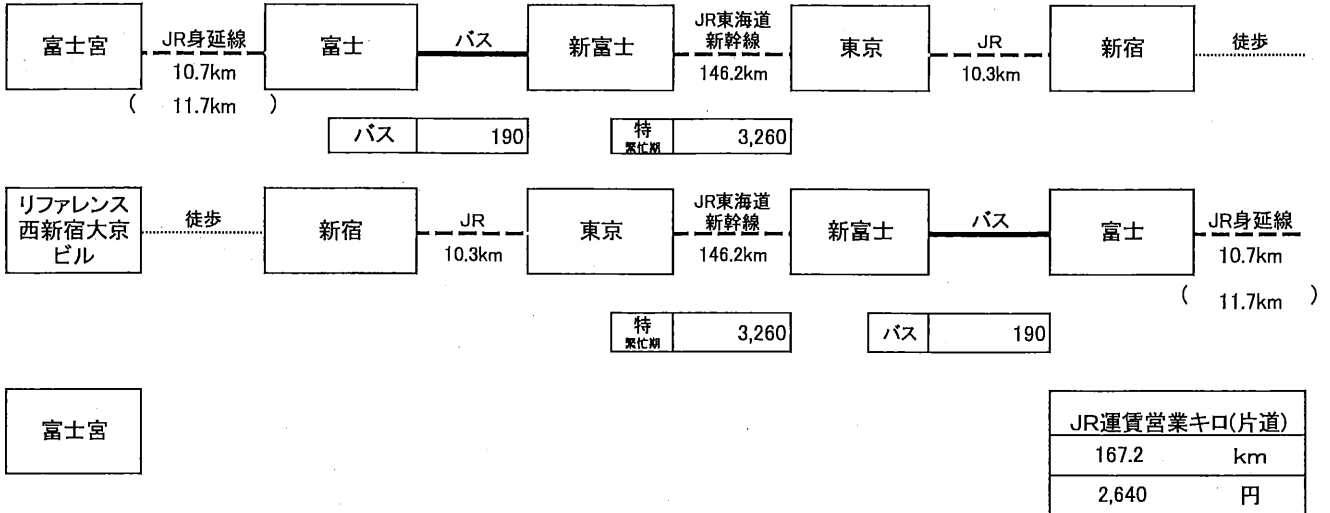
別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

無会派
(望月議員)

● 1 日 目 : 令 和 7 年 3 月 26 日 (水) 繁忙期

【研修】CKセミナー「必ず成果が出る質問の取り上げ方」(東京都新宿区西新宿7丁目21-3 西新宿大京ビル)



| | | | | | | | | |
|-------------|-----|----------|-------|---------------------------|-------------------------------|-----------------------------|--|--|
| 鉄 道 賃 | J R | 5,280 円 | 運賃 A | 12,180 円 × 1 人 = 12,180 円 | | | | |
| | 私 鉄 | 円 | | 日 当 | 1,650 円 × 1 日 × 1 人 = 1,650 円 | | | |
| 特 急 料 金 | 通 常 | 円 | 宿 泊 料 | | 16,500 円 × 0 夜 × 1 人 = 0 円 | | | |
| | 閑 散 | 円 | | | 旅 費 合 計 | 13,830 円/人 × 1 人 = 13,830 円 | | |
| | 繁 忙 | 6,520 円 | | | | | | |
| 航 空 運 賃 | 料 金 | 円 | | | | | | |
| 船 賃 | | 円 | | | | | | |
| 車 賃 (バ ス) | | 380 円 | | | | | | |
| 1人往復運賃合計 A | | 12,180 円 | | | | | | |

研修報告書

| | | 会派名 | 無会派 |
|----------------------------|---|-----|-----|
| 研修 年月日 | 令和7年3月26日 | | |
| 研修名 | 「必ず成果が出る質問の取り上げ方」 | | |
| 参加者 | 望月芳将 | | |
| 研修内容 (概要、特色、 効果、課題等) | <p>令和7年3月26日東京都新宿区リファレンス西新宿大京ビルにおいて、地域医療を守る特別研修として「必ず成果が出る質問の取り上げ方」を拝聴した。</p> <p>研修内容は次の通りである。 診療報酬の加算につて、率直に加算を申請しているか。地域包括ケア病棟の今後について、回復期リハビリ病床や地域包括医療病床に変更するか。救急搬送年間5000件以上受け入れや時間外の入院率が高いことなど、急性期病院としての役割と、地域の看取り機関としての役割のしわけなど、質問者材料を幾つか提示された。</p> <p>講義では富士宮市立病院の立地の問題を指摘されていた。東には富士市立中央病院と県立がんセンター。東には県立総合病院にはさまれ今後の経営方針が難しいとのことだった。 本年度病院のあり方検討がされているが、中間報告を要請してみる必要がると感じた。</p> | | |